

Soku足紋mon

【第1回 全国足紋普及協会通常総会の開催】



挨拶する稻葉光彦理事長

全国足紋普及協会の第1回定期総会は、令和3年5月25日、東京都品川区南大井6-7-10三栄ビル3階会議室において、会員17名（本人出席9名、WEB出席1名、委任状7名）が参加して開催しました。

総会に先立ち当協会の稻葉光彦理事長から、NPO法人発足に至る経緯や年間の活動状況を顧みるとともに足紋普及活動に引き続き積極的に取り組む旨の挨拶があり、その後、ご来賓挨拶としてWEB参加の日本市民安全学会石附弘会長から、第1回通常総会開催の祝辞を賜るとともに足紋普及の意義や重要性を指摘するご挨拶をいただきました。

総会では、山本事務局長から定足数を満たした総会である旨の報告があり、その後、稻葉理事長を議長に選出し議案審議に移りました。

◆第1号議案 令和2年度事業報告

光眞理事から、令和2年度事業報告書に基づき事業内容が説明され、審議した結果、異議はなく原案どおり承認されました。

◆第2号議案 令和2年度活動計算書報告及び監査結果

光眞理事から、令和2年度活動計算書に基づき収入、収支について説明され、その後、富江監事が会計の収支状況は適正に処理されていた旨の監査結果の報告があり、審議した結果、異議はなく原案どおり承認されました。

◆第3号議案 令和3年度事業計画書（案）

光眞理事から、令和3年度事業計画書（案）に基づき事業内容が説明され、審議した結果、異議はなく原案どおり承認されました。

◆第4号議案 令和3年度活動予算書（案）

光眞理事から、令和3年度活動予算書（案）に基づき収入、収支について説明され、審議した結果、異議はなく原案どおり承認されました。

その後、議事録署名人の選出が行われ、光眞理事、山本理事を選出し、異議なく2名が議事録署名人として承認されました。

続いて、山本事務局長が閉会の辞を述べ第1回全国足紋普及協会通常総会を終了しました。



通常総会の開催状況



「ぼうさいこくたい2021」で 「足紋採取会」



山本事務局長と光真理事

内閣府 津波防災 検索

第6回 防災推進国民大会
11月6日㈯ 11月7日㈰
～震災から10年～つながりが創る復興と防災力
－いわて釜石から－
詳しくはWEBサイトで「ぼうさいこくたい 検索」>
主催：防災推進国民大会実行委員会（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民大会）協力：岩手県、釜石市
あわせて開催> 11月5日㈰ 「津波防災の日」スペシャルイベント

現地活動報告

～約100名が採取を体験～

令和3年11月6日(土)、7日(日)の2日間、岩手県釜石市内の釜石市民ホールにおいて開催された「ぼうさいこくたい2021」(主催～防災推進国民大会実行委員会(内閣府など)]に出展して「足紋採取会」を実施しました。2日間で行政関係者や議員、報道関係者、地元の方々など約100名の方に足紋採取を体験していただきました。

足紋採取体験者から、「身元確認に足紋が有効であることを初めて知りました。大変良い取り組みだと思います」、「指紋を採るのはイヤだが、足紋には抵抗感がない」、「身元不明者を出さない為にも良い対策だと思います」、「マイナンバーカードに紐づけて活用すれば良いのではないか」などのご意見が寄せられました。

その他、出展していた復興庁や南海トラフ地震被害予想自治体(三重県、和歌山県)、地元防災NPO関係者をはじめ、地元の報道関係者にも「足紋」に関する資料を配布するなどして「足紋」の普及啓発活動に努めました。

足紋採取会には、当協会から光真理事、山本事務局長が参加するとともに、NECの6名の方のご協力をいただきました。

また、釜石出展に関して設営などに、NPO法人・@リアスNPOサポートセンター鹿野順一代表理事に多大なご支援をいただきました。

足紋証明書

ぼうさいこくたい 2021 開催
いわて釜石から

東京都 防災太郎様

2021年11月 6日

NPO法人 全国足紋普及協会
理事長 稲葉光彦



「ぼうさいこくたい2021」で
「足紋採取会」を行いました。

足紋採取会

11/6土 ▶ 7日 釜石市民ホール
10:00~15:00

釜石市大町1-1-9 TEL 0193-22-2266



「足紋採取会」のブースの状況



足紋採取状況(NECのスキャナーで採取)



足紋普及の意義等を説明している光真理事



「足紋証明書」の交付状況



「足紋」シンボルマーク

「足紋」という言葉を初めて聞いた方も多いと思います。このシンボルマークは、?マークと足裏と足紋を表現するとともに、広く「足紋」の普及(採取)をお願いする意味からお辞儀をしているイメージも表現しています。また、「足紋」が身元確認に有効であることや足紋普及活動を世界で最初に取り組んだ

のが当法人であることから我が国の国旗「日の丸」を取り入れました。

当法人は、昨年2月27日設立総会を開きNPO法人を立ち上げました。「新型コロナウィルス」感染拡大に伴い活動が制限されましたが、状況を見守りながら普及活動を推進していきます。

釜石市内の津波の高さ

釜石市の建物には、東日本大震災で津波が到達した高さを表示したプレートが多数取り付けられています。これは視覚で防災意識を高める一助になっていると思います。



会員・賛助会員募集

「全国足紋普及協会」は“無縁仏”がなくなる社会を創出することが目的です。「足紋」の普及活動について関心のある方はお気軽にご相談ください。

◆事業の種類

- ・足紋に関する理解を広く周知する広報、宣伝事業
- ・地域や自治体、防災団体等での講習会や採取会の開催による普及啓発活動
- ・足紋に関する調査研究事業
- ・足紋を採取する機器、資材及び足紋の管理システムの開発研究事業
- ・その他目的を達成するために必要な事業

◆入会金及び年会費

- ・入会金 会員 (個人:なし、団体 5,000円)
賛助会員(個人:なし、団体 5,000円)
- ・年会費 会員 (個人:5,000円、団体 10,000円)
賛助会員(個人:1口 3,000円、
団体:1口 5,000円)1口以上

◆現在の会員・賛助会員

会員~ 20(団体 1、個人 19)・賛助会員 29(個人 29)

「ぼうさいこくたい2021」に参加して!

「ぼうさいこくたい2021」のメインテーマは「～震災から10年～つながりが創る復興と防災力」でしたが、地元で防災に取り組んでいるNPO法人や任意団体による「東日本大震災10年の活動に学び、熱のある多様なつながりをつくる(防災のお隣さん)」をテーマにしたパネルデスカッションが開催されていました。

岩手県内で活動している各団体から活動内容(子供たちの健全育成活動、老人施設での活動など)が紹介され、本来の活動を通じて防災、減災に関する啓発活動を行なっているとの事でした。

登壇していた地元のNPO法人代表は、「防災のお隣さんは、日常生活であり、日常生活のお隣さんには防災、減災がある。全国各地に被災地があるが、被災経験をした人たちが一番防災、減災、避難、自主行動の大切さを分かっている。これからも被災地から防災、減災の発信を継続して行なう」と語り、日常生活が防災、減災そのものであり、人とのつながりの重要性を訴えていました。

事務局 から

昨年2月、NPO法人「全国足紋普及協会」を立ち上げて、本格的な普及活動に入ろうとしたが、新型コロナウィルス感染拡大に伴い「足紋採取会」、「講演会」などの活動は自粛せざるを得ない状況となりました。

10月1日、発出されていた「緊急事態宣言」と「まん延防止等重点措置」が解除されました。今までの日常には程遠い状況です。

そんな中、11月6日(土)、7日(日)の2日間、岩手県釜石市内で「ぼうさいこくたい 2021」が感染対策を講じて開催される運びとなり、当協会として「足紋採取会」初デビューを飾ることができました。

また、来年は、10月22日(土)、23日(日)の両日、兵庫県神戸市において「ぼうさいこくたい 2022」が開催されることが決定しました。当協会も参加したいと思います。

今後も「足紋採取会」、「講演会」などを通じて、「足紋」の普及活動に努めて行きたいと思います。皆様方のご協力をお願い申し上げます。



〈発行〉

特定非営利活動法人 全国足紋普及協会
〒140-0013 東京都品川区南大井 6-7-10 三栄ビル
電話 03-3298-2300
HP <https://www.sokumon.com>
E-mail jimukyoku@sokumon.com